Engineer プラットフォーム

2台目のサーバーをコードで構築

別のクラウド事業者で2台目のサーバーの構築を自動化。先にファイアウォールを作成し、起動時から保護されるようにし、両事業者のファイアウォールをREST APIから直接操作して、第三者のcollectionへの依存を避けた。

9月 2026

ファイアウォールの背後で起動する2台目のサーバー

状況. 最初とは異なる事業者で、アプリ用の2台目が必要になった。最初の手動構築ではファイアウォールを後付けし、既定のパスワード方針のまま外から届く時間があった。その歴史が、今回はどうするかの根拠だった。

課題. リポジトリから作成し、後から守るのでなく、起動時からファイアウォールの背後に置く必要があった。

行動. 順序を設計にした。サーバーより先にファイアウォールを作り、保護対象より前にルールを用意する。別事業者ではタグ対象の制御のため、タグを先に作る。両者のファイアウォールはvendor collectionでなく汎用HTTPタスクからREST APIを直接呼び、要求形式を手書きする代わりに依存と版のずれを除いた。サーバーは既存なら重複作成せず採用し、再実行を安全にした。課金する唯一のロールとして、そのファイルに種類、地域、仕様、ユーロ建て月額を記した。課金するプレイは読む場所でそう知らせるべきだからだった。汎用HTTPがチェックモード非対応で、試行では全タスクを飛ばすため、通常の予行はできないことも記した。代わりに無料で戻せるファイアウォールプレイを予行した。

結果. 明記した費用で、既存のファイアウォールの背後に2台目を作成・再採用できるようになった。試行で確認できない部分も、想定外として残さず同じファイルで名指しした。

この経験をお客様のプロジェクトに

「2台目のサーバーをコードで構築」を、お客様の組織の似た課題を考える出発点にしてください。この実績を支えたサービスを、お客様のプロジェクトにも提供できます。 実際の使用量に合わせてサーバーを構成し、月額費用を事前に把握したうえで、クラウドへの移行もクラウドからの移転も進めます。

サービスを見る お問い合わせ →

結果の背景を確かめる

この事例の状況、判断、結果をご覧ください。どの部分がお客様の制約の下でも生かせるか、どこに別の方法が必要かをご相談いただけます。 2台目のサーバーをコードで構築 — ファイアウォールの背後で起動する2台目のサーバー

サービスを見る お問い合わせ →

毎回同じ方法で新しいサーバーを構築したいですか？

納品を担当するエンジニアに、プロジェクトについてご相談ください。着手前に、業務範囲、価格の算定方法、引き継ぎ内容を書面で合意します。

担当した役割：インフラ自動化エンジニア。 関連する分野： API・システム連携, インフラ, クラウド, 自動化・CI/CD, セキュリティ および Python. こちらのサービスも得意としています クラウドインフラ・移行, コードによるインフラ管理, ネットワーク・VPN構築 および セキュリティ・アクセス管理.

お問い合わせ サービスを見る

より多くの実績の **一つです** — そのすべてをこのサイトで公開しています。

どの項目も、状況、課題、実施内容、変化という同じ構成で記載しています。

すべての実績を見る

必要な改善を定める

デプロイの流れ、運用上のリスク、緊急対応の担当者をお知らせください。検査、復旧手段、明確な責任の所在を伴う変更の範囲を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

毎回同じ方法で新しいサーバーを構築したいですか？

「2台目のサーバーをコードで構築」の判断の背景についてお尋ねください。仕事内容を説明し、お客様のプロジェクトを検討できる担当者が対応します。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://platform.engineer.company/ja/portfolio/provisioned-a-second-server-from-code/